

平成25年1月分の調査・駆除件数に関する考察

1. 1月は、12月に発見された早良区・城南区では発見・駆除されなかったが、中央区で11月に発見・駆除された、福岡市競艇場から直線距離で約1.8 km離れた舞鶴公園(平和台陸上競技場)で発見・駆除されている。
発見・駆除数とも東区が最も多いという傾向に変化はない。
2. 東区では、香椎浜公園の側溝内でハイイロゴケグモの雌が発見・駆除されている。
今回発見・駆除されたハイイロゴケグモは、一般的なハイイロゴケグモに比べ、「全身が黒くなるタイプ」であったため判別に時間を要しており、色や模様などは、個体差があるので、見分けるのに注意が必要である。
なお、福岡市内でのハイイロゴケグモの発見事例は、平成20年9月29日に初めて東区香椎浜町内の公園で発見されて以来5例目となる。
3. 以下のような状況から成体数の減少については、季節変化に伴うものや定期的・計画的な駆除による効果が考えられる。
 - (1) 1月は12月に比べ発見・通報に伴う駆除件数は減少している。
 - (2) 1月はセアカゴケグモの駆除数が12月に比べ60%増加したが、11月に比べ15%、10月に比べ32%減少し、9月に比べ56%減少している。
 - (3) 1月は32件の定期的・計画的な調査・駆除を行ったが、うち6件でセアカゴケグモは発見されなかった。
4. 卵のう数は、1月は12月に比べ26%減少、11月に比べ66%減少している。